

## 第 66 回伊那まつり第 4 回事務局会議次第

日 時 令和 5 年 12 月 21 日（木）午後 4 時から  
会 場 伊那市役所 501 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 第 67 回伊那まつりの概要と進め方について

(2) 第 67 回伊那まつりのテーマについて

(3) その他

4 そ の 他

(1) 今後の日程について

・次回事務局会議について

令和 6 年 月 日（ ）午後 時から

(2) その他

5 閉 会

令和5年度 第66回伊那まつり実行委員会 専門委員会正副委員長事務局名簿

第4回会議  
12月21日(木)

職 名	氏 名	住 所	出欠	備考
伊那まつり実行委員長	原 安司	荒井区事務所		
伊那まつり事務局長	工藤 陽介	日商開発(株)		
伊那まつり事務局次長	宮澤 伸英	(有) トモエ自動車商会		
伊那まつり事務局次長	安藤 泰行	(有) 安藤建設		

委員会名	職 名	氏 名	住 所		
総務広報	事務局	工藤 陽介	(兼務)		
	事務局	牛山 和也	観光課		
	事務局	小池 清隆	観光課		
市民おどり	事務局	山岸 洋子	伊那まつりおどり振興会		
	事務局	安藤 泰行	(兼務)		
	事務局	丸山 洋美	伊那市総合型地域スポーツクラブ		
	事務局	林 裕二	商工振興課		
	事務局	村田 和也	商工振興課		
おまつり広場	事務局	清水 功	株式会社BEST		
	事務局	宮澤 伸英	(兼務)		
	事務局	藤澤 正洋	伊那バス株式会社		
	事務局	竹腰 充	株式会社竹腰工業所		
	事務局	酒井 高太郎	観光課		
	事務局	小牧 さとみ	観光課		
交通	事務局	常田 祐輔	生活環境課		
	事務局	山口 雄樹	生活環境課		
伊那まつり 事務局		唐木 玲	観光課		
		重盛 巧	商工観光部		
		清水 俊一郎	観光課		

NO	氏名	所属委員会	所属団体名	勤務先
1	原 安 司	実行委員長	伊那市区長会長会	荒井区
2	工 藤 陽 介	事務局長	公募	日商開発(株)
3	宮 澤 伸 英	事務局次長	(一社)伊那青年会議所	(有)トモエ自動車商会
4	安 藤 泰 行	事務局次長	伊那商工会議所青年部	(有)安藤建設
5	吉 澤 文 男	総務広報委員会	伊那商工会議所	株式会社 BISO
6	小 椋 文 成	総務広報委員会	伊那市商工会	株式会社小椋
7	小 平 陽 介	総務広報委員会	(一社)伊那青年会議所	(有)フラワーピース南信州サンスイ
8	野 口 輝 雄	総務広報委員会	伊那市議会	
9	河 野 一 弥	総務広報委員会	伊那ケーブルテレビジョン	伊那ケーブルテレビジョン
10	城 取 和 広	総務広報委員会	イベント/まつりを考える会	
11	伊 藤 隆 博	総務広報委員会	伊那市観光協会	(一社)伊那市観光協会
12	山 岸 洋 子	市民おどり委員会	伊那まつりおどり振興会	伊那市総合型地域スポーツクラブ
13	原 静 江	市民おどり委員会	伊那まつりおどり振興会	
14	御子柴 春 樹	市民おどり委員会	伊那節振興協会	伊那節振興協会
15	畑 敏 和	市民おどり委員会	伊那市区長会長会(3月末まで)	中央区
16	中 村 雅 明	市民おどり委員会	伊那市区長会長会(4月から)	中央区
17	細 江 孝 明	市民おどり委員会	伊那市公民館運営協議会	伊那公民館
18	清 水 功	おまつり広場委員会	伊那商工会議所青年部	株式会社BEST
19	内 山 和 夫	おまつり広場委員会	荒井商工会	内山金物店
20	増 田 稔	おまつり広場委員会	ルネッサンス西町の会	マスダカメラ
21	山 崎 隆 男	交通委員会	伊那市交通安全協会	
22	佐 藤 睦 希	交通委員会	JRバス関東(株)中央道支店	JRバス関東(株)中央道支店
23	柳 澤 和 也	交通委員会	伊那バス株式会社	伊那バス株式会社
24	林 誠	交通委員会	伊那・つばめタクシー(株)	伊那・つばめタクシー(株)
25	白 川 光 朗	交通委員会	(有)白川タクシー	(有)白川タクシー
26	中 山 昭	監査委員	前年度実行委員長	
27	浦 野 博	監査委員	伊那市公民館運営協議会	西春近公民館

テーマ	論点	主な回答	背景
全般		<ul style="list-style-type: none"> <li>・よいお祭りだった。</li> <li>・楽しませてもらった。</li> <li>・盛り上がりがあったよかった。</li> <li>・トラブルにも臨機応変に対応していた。</li> <li>・コンパクトでよかった。</li> </ul>	
日程	開催日数について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来と同じ日程（二日間）でいかがか。</li> <li>・1日開催でよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察は1日を希望。</li> <li>・警備員の2日間確保は不可能。</li> <li>・安協や市職員の動員のみに頼ることはできない。</li> </ul>
	開催時期について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症対策も含め、酷暑の時期を避けたいどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催時期を変える場合、他イベントとの集約や優先順位付けが必要。</li> </ul>
	開催時間について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜を楽しむため、開始時間を早めるのはどうか。</li> <li>・交通規制開始を早めてはどうか。</li> <li>・終了時間が午後10時は遅すぎる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おどり開始を日の高い早い時間にすると、熱中症の危険が高まる。</li> <li>・警備員の確保状況による。</li> </ul>
会場	歩行者天国のエリアについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山寺から西町でいかがか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警備員の確保状況による。（人数増は困難ではないか。）</li> <li>・安協や市職員の動員のみに頼ることはできない。</li> </ul>
	西町エリアが暗かったことについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西町エリアが暗い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西町エリアで連絡調整の核となる人材が必要。</li> </ul>
	主会場を市役所周辺にすることについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く使える場所で開催したらどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主会場を市役所周辺とした場合、中心的になる人材（団体）はいるか。（荒井区、坂下区は商店街に中核メンバーが存在する。）</li> </ul>
花火	三峰川合流地点での花火復活について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽花火や大型花火の打ち上げを期待している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花火大会の運営やそれに伴う交通規制、シャトルバスの運行を担う人材（団体）はいるか。</li> </ul>
	花火打上げ場所の選定について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・憩いの公園である春日公園を使う必要があるか。</li> <li>・民家が近く、危険ではないか。</li> <li>・花火のカスが雨どいに入る。</li> <li>・花火打上げを前提に自宅を設計している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春日公園にこだわる必要はないので、広く候補地を検討していく。</li> </ul>
	花火の規模について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上伊那一の花火大会はどうか。</li> <li>・規模が小さかった。</li> <li>・単発の花火ばかりだった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型花火は打上場所に限りがある。</li> </ul>
	協賛者の紹介方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーブルテレビの生中継でも紹介したらどうか。</li> </ul>	
市民おどり	救急車のおどリエリア進入について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車は裏道を進入、ストレッチャーを移動することはいかがか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の生命のことであり、症状の軽重に関わらず傷病者に近い場所まで救急車が進入すべき。</li> </ul>
	参加連について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おどり連が有志団体だけになり、地区連がなくなったので、見ていて気持ちがよかった。</li> <li>・おどり連の距離はちょうどよかった。</li> <li>・おどり連が短くて人が集中していた。</li> <li>・学校の強制参加はやめてほしい。</li> </ul>	
	勘太郎、伊那節について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勘太郎、伊那節の練習不足が目立った。</li> </ul>	
	おどり連の進行について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連のペースメーカーが機能していなかった。</li> </ul>	
	おどり連の人数制限について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数を制限したことに納得いかない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数は情勢に応じて弾力的に対応する旨を付記していた。</li> </ul>
おまつり広場	おまつり広場が手狭だったことについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者天国のエリアを広げられないか。</li> <li>・小さい子ども対象の出店が少なかった。</li> <li>・通りが手狭だった。</li> </ul>	
	出店への行列が混みすぎることにについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出店が少なかった。</li> <li>・人混み過ぎて何も買えなかった。</li> <li>・屋台の場所が限定されていた。</li> <li>・飲み物が売り切れていた。</li> </ul>	
運営	実行委員会に参画する人の集め方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>	
	市職員の関わり方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みなまつりの方が自由な感じがしてよかった。市が口先介入するとつまらなくなる。</li> </ul>	
	熱中症対策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動販売機が売切れ、露店は行列で水分を確保できなかった。</li> <li>・開始時間の変更や、ペットボトルを実行委員会が提供できないか。</li> </ul>	
	ゴミ拾いについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・翌日のゴミ拾いは当然のこと、実行委員が苦勞するのではなく、市民参加にしていきたいこと。</li> </ul>	
環境整備	ゴミ箱の設置について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出店者がゴミを回収するのは難しい。ゴミが散乱するのであれば、処理費を出展料に上乗せするのはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・翌朝のゴミ拾いでは、ゴミが散乱している状況ではなかった。ゴミの持ち帰りが周知された結果ではないか。</li> </ul>
	タバコについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩きタバコが危険なので取り締まりしてほしい。</li> </ul>	
	携帯電話がつかないことについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時アンテナの増設ができないか。</li> </ul>	

令和5年12月

第67回伊那まつりについて（概要及び進め方）（案）

伊那まつり事務局

第66回伊那まつり終了後、実行委員会における振り返り及びアンケートを踏まえて、次の概要のとおり準備を進めたいがいかがか。

◇今後の予定

事務局会議（1月予定）：概要（枠組み）、テーマの検討

実行委員会（2月予定）：概要（枠組み）、テーマの提案承認

各専門委員会（2月～4月）：詳細の検討

◇主な変更点

- ・旧伊東電機工作所におまつり広場を設けて、来場者の流動性を高め、人流の分散を図る。
- ・県道の歩道における混雑緩和のため、伊那バスターミナル裏通りの交通規制を検討する。

1 日時

令和6年8月3日（土） 1日開催

- ◇一日間開催と二日間開催の両論あるが、再開に当たり3年間は試行錯誤をする期間と位置付けたことから、第67回は第66回開催内容の課題解消及び最適化を図る回とする。
- ◇酷暑の時期を外す提案もあるが、他の祭りやイベントの日程調整も必要となること、子どもたちにとって夏休みの思い出になることなどから、従来どおり8月第一土曜日とする。

2 エリア

メインエリア 県道南箕輪沢渡線 坂下入舟交差点から春日公園下交差点

- ◇従来どおり山寺から西町までをエリアにする声もあるが、警備員の確保や地区の理解などを考慮して、第66回と同じエリアとする。

3 おまつり広場

セントラルパーク、いなっせ北側広場、伊那バスターミナル、旧伊東電機工作所（新）

- ◇おまつり広場の位置が偏っていたことで、来場者がいなっせ周辺に集中したことから、市民おどり連の南端である西町エリアにも賑やかしエリアを設置する。

4 市民おどり

北端の折返しをいなっせ交差点、南端をセブンイレブン伊那西町店付近とする。

- ◇伊那橋でのおどり連折返しはスペースに余裕がなかったため、おどり連の北端をいなっ

せ交差点とするのはいかがか。(おどり連の出場人数次第で前後させる。)

## 5 交通規制

伊那市駅前ロータリーを規制範囲に含めて、許可車（路線バス、高速バス、タクシー）のみ進入可とする。

あわせて、伊那バスターミナルの裏通り（日本旅行～元田中病院）の交通規制を検討。

◇伊那市駅前ロータリーが、路線バス、高速バス、タクシーに加えて、一般車両と歩行者が入り乱れて危険だったため、一般車両の進入を規制する。それに伴い、伊那バスターミナルの裏通りについても一部交通規制を検討する。

## 6 花火打上げ

規模は、第 66 回と同じく市民おどり終了から 30 分間程度とする。

候補地：春日公園三の丸、伊那スタジアム

◇春日公園では 5 尺玉が限界であったが、さらに大きい花火打上げを希望する声がある。また、春日公園は人家や木々に近いため、危険性を指摘する声がある。そのため、伊那スタジアムも打ち上げ場所の候補とする。

## 7 救急対応

救急車両出動の際は、傷病者の直近に停車するよう誘導する。

傷病者の発生がまつりエリア内であれば、直ちにまつり運営を中断し、救急車両の進入を優先する。

◇救急車両は裏通りに誘導し、ストレッチャーで現場急行して傷病者対応する提案もあるが、救急車両は傷病者の直近に出動するのが大原則であること、第 66 回の状況では裏通りにも人が溢れて救急車両が通過できる状態ではなかったことなどから、119 番通報があった際は、まつりエリア内といえども、傷病者の直近まで進入することとする。

## 8 その他

実行委員会を令和 6 年 2 月下旬に予定、第 67 回伊那まつり実行委員会を組織する。

団体選出以外にも委員を募ることでいかがか。

事務局及び各専門委員会の業務分担等について、再開から 3 年間は試行錯誤をする期間と位置付け、それぞれの立場で業務の棚卸しを含む改善や課題解消、最適化に努めることとしたい。早急に変更を要することについては、事務局会議で検討することとしたい。

第67回伊那まつり おまつり広場 (案)

セントラルパーク

いなっせ北側広場

伊那バスターミナル

春日町周辺店舗

元ローメン横丁

旧株式会社伊東電機工作所  
カーピカランド

セブンイレブン伊那西町店

MEGAドン・キホーテUNY伊那店 クスリのサンロード伊那店



伊那まつり基本コンセプト・テーマ一覧

	開催日	基本コンセプト	テーマ	サブテーマ	キャッチフレーズ
第28回	平成12年8月5・6日	伊那節と勘太郎の伝統をいかしながら参加する人も、見る人も、“楽しかった良かった”と思える夏まつり	老いも若きも楽しく踊ろう		踊れ！Dancing On the Road
第29回	平成13年8月4・5日	“躍る” 「伝統の伊那節・勘太郎」と「新しい風のダンシング・オン・ザ・ロード」のそれぞれの踊りを通して、躍る人も見る人もワクワク・ドキドキするような夏まつりを目指す。	踊る		”踊る” あなたが見てみたい。 わたしゃ伊那粋な勘太郎、皆舞う連は竜と成す
第30回	平成14年8月3・4日				
第31回	平成15年8月2・3日				
第32回	平成16年8月7・8日				
第33回	平成17年8月6・7日		融合		人と人とのコラボレーション 「さあ 踊ろうぜ そうえ 踊らまいか」
第34回	平成18年8月5・6日		飛躍		「さあ 踊ろうぜ みんなの衆」
第35回	平成19年8月4・5日		飛躍		「夏だ まつりだ 元気に踊ろう！」
第36回	平成20年8月2・3日		和		A-TSU・NA-TSU・TA-TSU 「熱・夏・竜」
第37回	平成21年8月1・2日		響(ヒビキ)		カツカツカツ ゲンキヒビ イナ シュウ 活！克！喝！ 元気に響け 伊那の衆
第38回	平成22年8月7・8日		絆(きずな)		集え！踊れ♪Yes we can!!
第39回	平成23年8月6・7日	結(むすぶ)		中止	
第40回	平成24年8月4・5日	明日(あした)へ	心をひとつに 明日(あした)へ がんばろう日本		
第41回	平成25年8月3・4日	翔(はばたけ)			
第42回	平成26年8月2・3日	集(つどえ)			
第43回	平成27年8月1・2日	煌(きらめき)			
第44回	平成28年8月6・7日	つなぐ			
第60回 (15+45)	平成29年8月5・6日	『みんなが主役、誰もが参加できる市民総参加の魅力ある市民まつり』	のぞむ		
第61回	平成30年8月4・5日		歩(あゆむ)		これまでの伝統と文化を継承しつつ、みんなで新たなまつりを創造する第一歩を踏みだそう。
第62回	令和元年8月3・4日		跳(はねる)		これまでの伝統を継承しつつ、祭りを大きく成長させるため、踊りは生き活きと、花火は高だかと跳ね上がるようにみんなの力を結束させて取り組もう。
第63回	R2年9月12・13日		翔(かける)		伝統と文化を未来につなげ、新しい世界へ向かって天高く羽ばたこう。 【中止】
第64回	R3年9月 日				
第65回	R4年8月6日				
第66回	R5年8月5日	『市民が集い、共に考え、共に行動して成し遂げる市民まつり』			「新たな一歩」～踏み出そう！それぞれの歩幅で～